

水の輪

■水の輪110号■

2013年12月9日

(冬号)

✧ 湘南学園

P.T.A.広報部

藤沢市鵜沼松が岡4-1-32

URL <http://www.shogak.ac.jp>



たいいく表現まつり2013



3年生

「湘南はねこ」



2年生

「湘南花笠」



1年生

「湘南エイサー」



6年生

「湘南ソーラン節」



5年生

「湘南御神楽」



4年生

「湘南七頭舞い」



PTAバザー

2013.9.29



「PTAバザーを終えて」
バザー委員長 吉田真希子
今年のバザーは好天に恵まれ保護者・後援会の皆様にご協力をいただきまして、大きな事故やけが人がなく無事に終えることができました。心より御礼申し上げます。ありがとうございました。
バザー成功に向けて一心不乱で走り続けた4か月間でした。バザー委員も始めは、ぎくしゃくしていたのですが、委員会を重ねるごとに団結力が強くなり委員の気持ちが一つになっていきました。そして笑わなかった日はなかったくらい楽しい委員会となりました。
バザー委員は大変かもしれませんが、ですがそれ以上に得られるものがたくさんあると私は感じました。そして今はこの出会いに感謝の気持ち一杯です。



6年生 フラワーアレンジメント (シルクフラワー教室) 講師 近藤えり子先生 小学校 多目的室	6/27 5年生 釜石市「いのちの教育」 に学ぶ災害への備え 講師 川崎一弘氏 小学校 多目的室	11/20 4年生 セルフ・ボディマッサージ ランチ&アロマスプレー 鶴沼公民館 談話室	7/10 3年生 ビーズアクセサリー教室 講師 福村裕子先生 小学校 多目的室	9/18 1年生 生パスタを使った お料理教室と試食会 ホームメイドクッキング教室	11/29 2年生 「子どもを犯罪から 守るために」 鎌倉ガーディアンズ代表 大津定博氏講演 小学校 多目的室
--	---	---	--	--	--



第3回全学教育研究会が、8月30日行われました。今年の実行委員会が準備し、はじめの全体会では、各パートの写真を沢山紹介しながら「ESD(持続可能な発展のための教育)」で幼・小・中高の教育を繋ぐことが出来るか」という問題提起が行われ、各パートの相互理解も一段と深められました。

その後、5つの分科会に分かれて各2本の実践報告と議論が行われました。

全体会・分科会ともに詳細なレジュメが作られ、参加されている教職員の方々の、この活動への熱心な姿勢が感じられました。

最後に共同研究者の佐藤隆先生(都留文科大教授)より、「わがことと生きることを結びつけることが大切」とのご講評をいただき、学園長からは次年度への課題が提起されました。



2013年全学教育



H 3

箱根神社
合格祈願&ランチ



H 2

もの作り（陶芸）と
身体にやさしい精進料理



H 1

パスタ作り体験とお食事会



P
T
A
援
助
費
企
画

M 3

クリスマス仕様の
シルクフラワー教室 と
フランス料理のマナー教室



M 2

「湘南フレンチ」
自宅で出来る
クリスマス一品料理教室



M 1

「横浜聘珍楼」
お料理教室と懇親昼食会



松が岡邸ご案内

◆松が岡邸の利用予約について

第一・第二松が岡の各部屋の予約は、原則として利用される月の一ヶ月前の一日から、湘南学園法人事務局窓口にて受付しています。電話での予約も可能ですが、窓口予約が優先となります。(原則先着順)

予約完了後、原則として利用される日に、松が岡邸入口の鍵を法人事務局窓口まで受け取りにお越し下さい。

予約受付時間

平日 8時20分～16時30分
土曜 8時20分～12時20分
(日・祝日を除く)

◆松が岡邸利用の留意事項

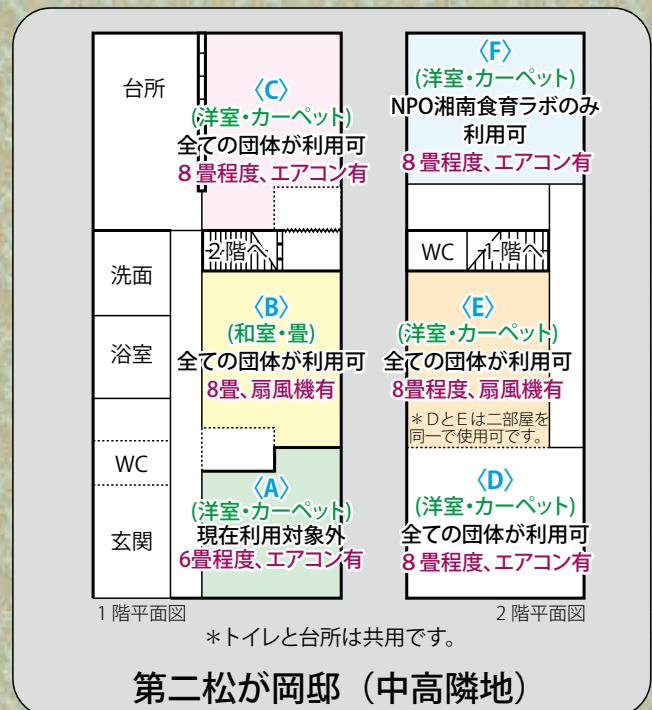
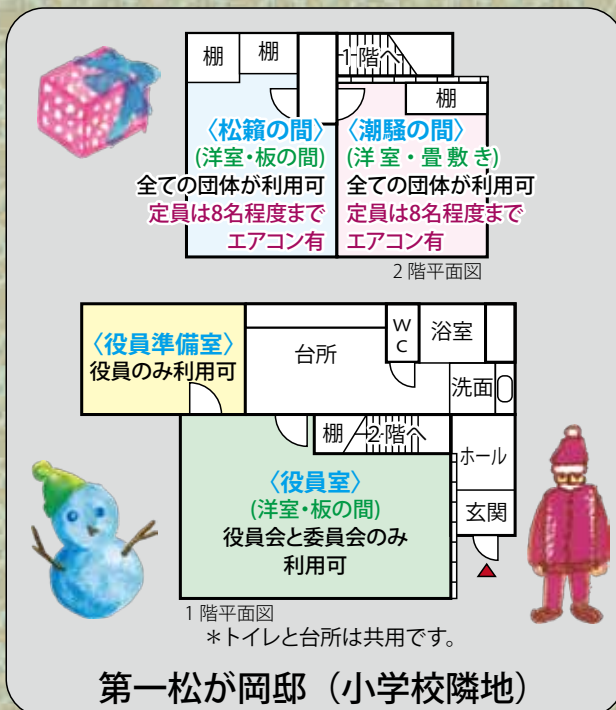
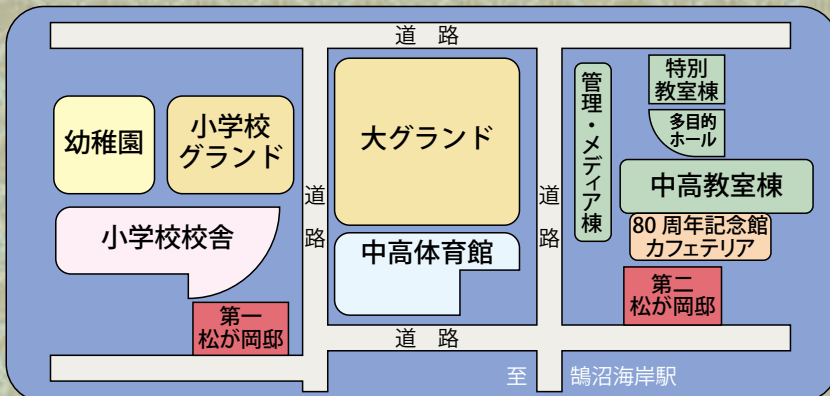
ご承知のように、松が岡邸は学園敷地内とはいえ、閑静な住宅街にございます。去る九月中旬に近隣の方から、松が岡邸の利用について苦情がありました。苦情の内容は、利用中の部屋から騒ぎ声が漏れる件、そして利用終了後に玄関先の公道での立ち話の件でした。

そのため学園としましては、近隣への配慮及び公道の車両妨げにならないよう、次の二点に留意頂きご利用下さい。

一・第二松が岡邸を利用する

場合は、各部屋の窓は閉めたままご利用下さい。

一・第一・第二松が岡邸の玄関前の公道での長時間の立ち話はご遠慮下さい。



編集後記

今年の夏は異常な猛暑となり、学園祭・バザーの準備では皆様、暑さとの戦いがあったのではないのでしょうか？

秋は行事が盛りだくさんあり、子ども達も忙しい日々を過ごしていました。

今年は学園も80年を迎え、次世代に向け更なる発展を遂げる節目となっています。80周年を記念する行事もあり本号に掲載しきれず、年度末にも発行させていただくことになりました。

次号も、編集委員一致団結して、皆様に楽しんでいただける「水の輪」を編集して行く予定です。

